

エリオット・アーウィット展

Elliott Erwitt



New York City. 1946, Platinum Palladium prints on Archival paper, 20 x 24 inch, printed year 2014, P.P. 1/2 © Elliott Erwitt

このたび、VLC Gallery by AKIO NAGASAWAでは、エリオット・アーウィット展を開催いたします。

エリオット・アーウィット（1928–2023）は、1940年代に写真家としての活動を開始し、写真家集団マグナム・フォトに参加しました。報道写真からスナップまで幅広い作品を手がけ、ユーモアと人間味あふれる視点で日常の一瞬を鮮やかに切り取ってきた、20世紀を代表する写真家の一人です。

本展では、1946年から1999年にかけて撮影された作品を、最新のテクノロジーによるプラチナ&パラジウムプリントで再現します。豊かな階調と高精細な解像度を備えたこれらの作品群は、アーウィット自身のディレクションのもと、時代を超えた表現として現代に蘇ります。

ぜひこの機会にご高覧ください。

《開催概要》

エリオット・アーウィット展

会期 2026年2月6日（金）～

月曜～金曜 11:00–18:00 [土曜、日曜、祝日休廊]

会場 VLC Gallery by AKIO NAGASAWA

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-40 江戸見坂森ビル1F（TEL：03-6264-3670）

<https://vlcgallery.com>

《作家略歴》

1928年、ロシア人の両親のもとパリに生まれる。11歳の時にアメリカへ移住し、1949年にニューヨークで写真家として本格的に活動を開始。以降、ニューヨークを拠点に制作を続ける。1953年、ロバート・キャパの推薦によりマグナム・フォトに参加し、後に同会長を三期務める。ウィットとユーモア、人間味あふれる作風で、ジャーナリズムから広告まで幅広く活躍。特に犬や子供を被写体にした作品で知られる。1970年代には映画制作、1980年代にはテレビ制作にも携わるなど、写真制作以外の分野でも多彩な活動を展開する。日本とも縁が深く、三島由紀夫の撮影や『Vogue Japan』などの仕事を手がけたほか、MoMAをはじめとする世界主要美術館で展覧会が開催されている。<https://www.elliotterwitt.com>